

2026 年 10 月 20 日
株式会社ディー・ディー・エス

**DDS、i-PRO の AI ネットワークカメラで動く
AI 顔認証の機能拡張ソフトウェア「EVEEDGE」を開発
～カメラの中で顔認証を完結し、認証結果で現場の機器を直接動かす。
i-PRO Remo.サービス および EVECLOUD 連携製品として 2026 年内に提供開始～**

指紋認証をはじめとした、さまざまなセキュリティ・ソリューションを提供する株式会社ディー・ディー・エス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：池 要翰、以下 DDS）は、i-PRO 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 Chief Executive Officer：中尾 真人、以下 i-PRO）の AI ネットワークカメラ用機能拡張ソフトウェアとして動作する AI 顔認証アプリケーションと、その運用を支えるクラウドサービスを組み合わせた「EVEEDGE（イブエッジ）」を開発し、i-PRO Remo.サービスおよび EVECLOUD とともに連携可能な製品として 2026 年内に提供を開始します。

顔を見分ける処理をカメラの中で行うため、専用サーバーや高性能 PC を必要としません。ネットワークやクラウドが停止している間もカメラ単体で認証を継続し、認証が成立した瞬間に、同じネットワーク上にある積層信号灯などの機器へカメラが直接指示を送ります。

■開発の背景

顔認証を店舗や施設へ導入する際には、次の 3 点が導入の妨げになってきました。

- ・顔の照合をサーバー側で行う構成では、専用サーバーや高性能 PC が必要になり、初期投資と運用の負担が大きい
- ・ネットワークやクラウドが停止すると認証そのものが止まり、現場の業務が滞る
- ・拠点とカメラが増えるほど、登録者の管理や認証履歴の確認に手間がかかる

DDS はこれらを解決するため、顔認証エンジンを AI ネットワークカメラの中で動かし、運用に必要な管理機能だけをクラウドへ置く構成を採りました。

■本製品の特長

1.専用サーバーが要らない

顔を見分ける処理はカメラの中で行います。顔画像や抽出された顔の特徴データはカメラ内で処理され、カメラから外部へ送信しません。専用サーバーや高性能 PC が不要なため、初期投資と運用コストを大幅に削減できます。

2.障害時も認証動作は継続

ネットワークやクラウドが停止しても、カメラの中で認証を継続します。判定はその場で即座に出ます。

3.離れた場所から一元管理

登録者の追加、認証履歴の確認、カメラの設定変更を、Web の管理画面「EVEEDGE Web 管理ツール」からまとめて操作できます。拠点をまたいだ多数のカメラを 1 か所で扱えます。

4.現場の機器と直結する

認証が成立した瞬間に、カメラが同じネットワーク上の機器へ直接指示を送ります。クラウドを経由しないため、既存の設備をそのまま活かせます。

■システム構成

現場のカメラが顔認証を行い、その結果で同じネットワーク上の機器を直接動かします。クラウド側では、登録者と認証履歴の管理に加えて、映像を i-PRO Remo. が、登録者と顔画像のマスターおよび管理者の認証を EVECLOUD が担います。

店舗や施設、オフィスなどの現場において、利用者がカメラに顔を向けるだけで認証を行える AI ネットワークカメラシステムです。

本システムでは、カメラ内に導入された「EVEEDGE App」がカメラ単体で顔照合を完結させます。顔認証が成立した瞬間に、同一ネットワーク内（※3）にある積層信号灯などの機器へ直接指示が出され、その場で即座にアクションが実行されます。

同時に、撮影された映像や顔検知イベント、登録者情報は「i-PRO Remo.」へ配信され、映像の記録・再生が行われます。また、登録者データや顔画像のマスターは「EVECLOUD」を介して管理者認証サービスへ安全に受け渡されます。

管理者は「EVEEDGE Web 管理ツール」を通じて、登録者情報や認証履歴、カメラ設定を一括管理できるほか、認証時の通知を受け取ることが可能です。

■i-PRO Remo. サービスとの連携

カメラが検知した顔検知イベントを、エッジ記録型クラウドカメラサービス「i-PRO Remo.（アイプロ リモ）」のタイムラインへ表示できます（※2）。映像はカメラ内の microSD メモリーカードに記録され、i-PRO Remo. からクラウド経由で再生できるため、レコーダーを追加する必要はありません。

■EVECLOUD との連携

登録者と顔画像は、DDS のクラウド認証サービス「EVECLOUD（イブクラウド）」で管理しているものを利用できます（※5）。管理画面へのログインにも EVECLOUD の認証を利用できるため、既に EVECLOUD をお使いのお客様は、登録済みの利用者情報をそのまま顔認証へ活かします。

■提供時期

2026 年内に提供を開始します。

《 EVEEDGE 》

i-PRO の AI ネットワークカメラ用機能拡張ソフトウェアとして動作する AI 顔認証アプリケーション「EVEEDGE App」と、登録者・認証履歴・カメラ設定を管理するクラウドサービス「EVEEDGE Web 管理ツール」で構成します。クラウドに接続して運用するクラウド管理モードと、カメラ単体で運用するスタンドアロンモードのいずれでも利用できます。

対応カメラ	i-PRO AI ネットワークカメラ（※1）
動作モード	クラウド管理／スタンドアロン
カメラからの通知	ローカル Webhook（HTTP GET／POST）、カメラアラーム通知
クラウドからの通知	メール、Slack、Google Chat、LINE WORKS（※4）
登録可能人数	カメラ 1 台あたり 500 名
同時認証	1 フレームあたり最大 10 顔

- ※1：対応機種は 2MP(1080p)屋内小型 AI カメラ i-PRO mini、2MP(1080p)屋内バンドル ドーム AI カメラ、AI スターターキット (i-PRO module) です (2026 年 10 月時点)。ご利用には本アプリケーションのインストールが別途必要です。
- ※2：i-PRO Remo. のタイムラインへの顔検知イベントの表示、および映像の再生には、i-PRO Remo. サービスのライセンスの購入と、カメラへの microSD メモリーカードの装着が必要です。
- ※3：積層信号灯などの機器を制御するには、対象の機器が HTTP による制御に対応し、カメラと同一のネットワーク上にある必要があります。機器は本サービスに含まれません。
- ※4：LINE WORKS への通知は提供開始までに対応予定です。
- ※5：EVECLOUD との連携には EVECLOUD のご契約が必要です。

《 株式会社ディー・ディー・エス について 》

DDS は、指紋認証ソリューションのリーディングカンパニーとして創業以来、産学連携による技術開発に積極的に取り組んでおります。多様化する情報セキュリティ・ソリューション・ニーズに対応可能な「多要素認証基盤 Themis」、「多要素認証基盤 EVEMA」、「二要素認証基盤 EVEFA」、およびクラウド認証サービス「EVECLOUD」などの情報セキュリティ製品の開発・販売を行っております。

(ホームページ：<https://www.dds.co.jp/ja/>)

《 i-PRO 株式会社について 》

i-PRO 株式会社はセキュリティ、セーフティ、医療用エッジコンピューティングカメラの世界的リーディングカンパニーです。60 年超におよび培われた高品質で信頼性の高いハードウェアを用い、画像を意思決定の現場で活用する最先端技術を開発しています。i-PRO 製品は、容易にカスタマイズおよび統合ができるよう設計されており、お客様のあらゆる用途に柔軟に対応します。

私たちは、AI を倫理的に責任をもって活用し、堅固なサイバーセキュリティを備え、持続可能なテクノロジーを提供します。i-PRO は、2023 年より国連グローバル・コンパクトの参加企業です。

(ホームページ：<https://i-pro.com/ja-JP>)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社ディー・ディー・エス
セールスコミュニケーション部
Email：sales@dds.co.jp

- ※ i-PRO は、i-PRO 株式会社の商標または登録商標です。
- ※ Themis、EVEMA、EVEFA、EVECLOUD は株式会社ディー・ディー・エスの登録商標です。その他プレスリリースに記載されているロゴ、会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- ※ プレスリリースに掲載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。